

# 今帰仁

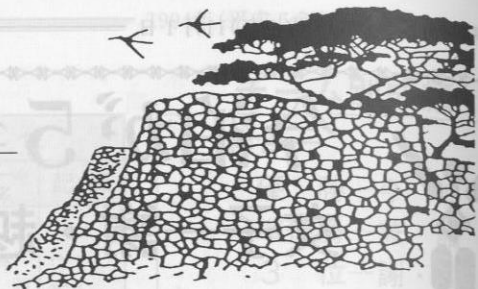
◆ 広報

11

1994

No.228

毎月1日発行



●今帰仁村の人口  
 男 4,822(+2) 女 4,815(-5) 計 9,637(-3)  
 世帯数 3,140(-2) 平成6年9月30日現在



## 村立保育所合同運動会

## 元気いっぱい今帰仁っ子

楽しくて笑顔が絶えない子、泣きべそをかいて先生にしがみついている子、無邪気にはしゃぎ回っている子、自分の気持ちを率直に表現しているかわいくて明るい今帰仁っ子。

十月十六日、今帰仁村立保育所合同運動会が村運動公園で行われた。

園児達は、かけっこやエイサー等を元氣一杯に演技、特に親子ゲームでは、肩車やおんぶ、幸福そうにあまえていた。

### 今帰仁村民憲章

- 一、みんなを守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくりよう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

種目別順位と記録 (太字は新記録)

Table with columns for rank (順位), item (種目), name (氏名), team (チーム名), and record (記録). It lists results for various track and field events across different age groups (e.g., 一般男子, 一般女子, 壮年).

チーム別成績

Table showing team performance for '総合' (Overall), '男子' (Men), '女子' (Women), and '壮年' (Senior) categories, listing winners and runners-up.



▲各字対抗戦、学年別リレー



▲60代砲丸投で優勝した西平選手



▲チーム旗を先頭に入場行進

今泊が5年連続総合優勝
女子一謝・越13種目中10種目を制す

男子一今泊 壮年一兼・諸



▲60代100M決勝、すばらしいスタート



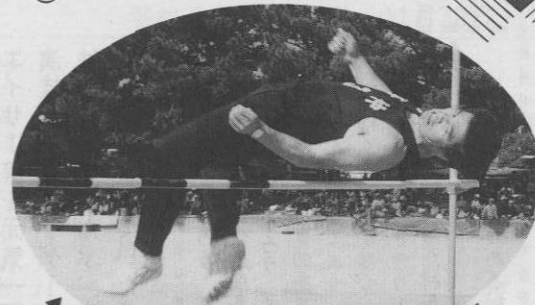
▲2位争いで死闘、5000M



▲女子400Mリレー決勝



▲5連覇を達成、今泊チーム



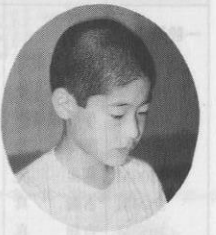
▲40代走高跳村タイ記録で優勝した喜納選手

秋空の下、絶好のスポーツ日和となった、第四十九回今帰仁村陸上競技大会(主催、村体育協会)が十月一、二の両日、村総合運動公園と村営グラウンドで行われた。大会には、村内から十二チームが参加し、一日は、午後六時から円盤投げ、やり投げ、ハンマー投げが大勢の応援団が見守る中ナイターで行われた。二日は、大城勉選手(今泊)の力強い選手宣誓の後、各競技が開始され、選手達は日頃の練習の成果をいかに発揮していた。また、各チームの応援席からは、太鼓や指笛等で選手を激励、大会は

大いに盛り上がった。各部門別の結果は、総合で今泊が五年連続優勝、男子も今泊が二年連続優勝、女子は謝名・越地が五年連続優勝、壮年は兼次・諸志が初優勝に輝いた。また、最優秀選手賞(村長賞)には、六十代百Mを大会記録で優勝した内間英松選手(兼・諸)と、女子のやり投げと円盤投げの両種目を大会記録で優勝した宮里すま子選手(謝・越)に贈られた。なお、大会では一個の村タイ記録と四個の大会記録が生まれた。村タイ記録及び大会記録は

- 次のとおり。
◎四十代走高跳 喜納政順(与・仲一メートル七〇)
大会記録
◎六十代百メートル 内間英松(兼・諸十五秒一)
◎女子やり投げ 宮里すま子(謝・越四十三メートル四十六)
◎女子円盤投げ 宮里すま子(謝・越二メートル五十六)

学対シリーズ(8)



音読・がんばるぞ

今帰仁小学校五年 島袋大樹

ぼくは、読書が大好きです。だから毎日本を読んでいます。でも四年生のころまで、ぼくの本読みはほとんど音読でした。家で声に出して読むのはちよっぴりはきかしくても、でも四月十一日からぼくは毎日夕方音読をするようになりました。それは、こんな事があったからです。四月のある朝、ぼくが放送委員会の活動を終えて教室に入っていると、先生が笑顔で「大樹君はアナウンサーが上手だね。声もいいし言葉がはっきりしていて聞きやすかったよ。しよう来はアナウンサーになれるよ」とおっしゃったのです。ぼくは、なんだかうれしいようなはずかしいような気持ちになって心の中がほかほかあったかくなってきました。

人自分の好きな場面を読むことになったのです。裕子さん良友君と順々に読んでいよいよぼくの番がやってきました。ぼくはドキドキしながら「ふき子の父は、……」と大きな声で読み始めました。ふき子とふき子のお父さんの会話の部分、二人の気持ちを考えたり声の調子を変えたりして読みました。すると不思議なことにもく読をしていいたときより、ふき子やふき子のお父さんの気持ちがもともとよよくわかるような気がしました。読み終えてほっとしてすわると、周りからはく手が聞こえてきました。

と、そして音読のめあてを二つ決めました。一つは、「毎日続けて音読をすること」二つめは「人物の気持ちを考えながら読むこと」です。ぼくは今でもこの二つのめあてに向って努力しています。お母さんも「とても上手だよ」とほめてくれます。四月十一日から、今日まで多くの「音読調べ表」は、お母さんと先生のサインでいっぱいです。教室にははられて「音読リレー」のシールも毎日貼っています。六月も音読リレーを毎日読け完了したいと思います。ぼくは午後八時から九時まで家庭学習をしそれから読書明日の準備をします。十時から十分間夕読みをしてぼくの一日は終わります。そろそろ午後十時、ぼくの夕読みの時間です。



「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール 優秀賞



兼次中2年 與那嶺 稜子 兼次中2年 與那嶺 智子

朝読み夕読みが創る 明るい家庭・文化の村 湧川中一年 山城 由莉

本読みは、きみの未来の 基礎・基本 今帰仁中一年 平安 航

朝読み夕読みから始まる 学習意欲 今帰仁中三年 与那嶺咲子

天底小学校全児童 運天港周辺のゴミや空き缶拾う 「地球にやさしい天底っ子」



十月十七日、午後三時より天底小学校(小浜守清校長)全児童(二百二十人)は運天港周辺のごみや空き缶拾いを行った。これは、地球にやさしい天



底っ子大会の一貫で「運天港クリーン作戦」と銘打って展開された。名渡山みな子さんの「さわやかな汗をかいて運天港をきれいにしよう」と始めの言葉で作業開始、児童達は、軍手に買物用のビニール袋を持ちそれぞれの決められた場所に散らばった。三十分後には、袋いっぱいになったゴミや空き缶が集められた。児童の感想発表で、やまかわだいき君(一年生)は「皆できれいに掃除をしたのでとても気持ちがいい」岸本江利香さん(四年生)は

「見えないところや、気が付かないところも掃除ができてとても良かった」、大城明奈さん(五年生)は「私は心が豊になった。チリがないと思っていたらこんなに沢山あるとは思わなかった。一人ひとりがゴミを捨てないで持ち帰ってほしい」、大城真梨さん(六年生)は「皆で協力して運天港がきれいになった。ポイ捨てをしない、ゴミを出さない工夫をしていこう」とそれぞれ感想を語った。



大人の皆さんゴミは持帰って!



玉城区長に 稲嶺盛信さん 十月一日付で、玉城区長が新城安昌さんから稲嶺盛信さん(玉城六五六)に変わりました。これまで長い間、字及び村政発展にご尽力下さいました新城さん、大変ご苦労様でした。また、新しい区長になりました稲嶺さんに村民皆様のご協力をお願いします。



▲衣裳もバッチリ決めて

「イーヤーサッカー」「ハーイーヤー」威勢のいい掛声と太鼓の音が老人ホーム「乙羽園」に轟いた。十月七日、北山高校二年四組(担任、与座朝幸)の男子生徒十九人、女子生徒十二人が老人ホーム「乙羽園」をエィサーを披露した。生徒達は、「学園祭」でエィサーを披露するため担任の与座先生から約二カ月間、沖縄市園田エィサーを教わった。始まる前にクラスを代表して松田育恵さんは「覚えるのに大変苦労したが、乙羽園で初めて披露できることを心よりうれしく思います。」とあいさつした後、おそろいの衣裳で勇壮に舞った。おじいちゃん、おばあちゃん達も拍手子をしてながら上半身を動かして満足そうに楽しんでいった。

北山高エィサーを披露 老人ホーム「乙羽園」を慰問

# 新議長に与那嶺幸人議員 副議長は嘉陽宗敬議員

九月十一日の村議会議員選挙で当選された新議員による九月定例会議が九月二十八日から開催され、新しい議長に与那嶺幸人議員(崎山)、副議長に嘉陽宗敬議員(湧川)が選出されました。また、各常任委員は次のとおりです。



与那嶺 幸人  
議長(47)

嘉陽 宗敬  
副議長(46)

総務委員長	小波津 忍
副委員長	東恩納 寛政
委員	新城 安昌
"	島袋 輝志雄
"	石嶺 光敏
"	国吉 宗定

経済工務委員長	仲原 正春
副委員長	与那嶺 吉正
委員	宮城 康吉
"	与那嶺 好和
"	新城 元
"	宮城 博政

文教社会委員長	喜屋武 治樹
副委員長	照屋 晃
委員	與那嶺 清治
"	運天 政徹
"	山城 正
"	大城 幸治

## 11月20日は県知事選挙の投票日 “あなたの清き1票で明るい社会”

村民のみなさん、沖縄県知事が平成6年12月9日に任期満了となりま。それに伴い来る11月20日(日曜日)の午前7時から午後6時まで県知事選挙の投票を行うこととなります。

有権者の皆さんは、村選挙管理委員会から郵送された入場券により指定された投票所で投票して下さい。

### ●今回の選挙で投票できる者

今回の県知事選挙で、有権者として投票できるのは、投票日までに満20歳に達する者(昭和49年11月21日以前に出生した者)で、平成6年8月2日までに今帰仁村に住所を有する(届出)に至った者。その日以後の転入者は、前住所地で投票できますが、居住証明が必要となりますので住民票を持参して前住所地で投票して下さい。

### ●不在者投票(印鑑必要です)

不在者投票は、特別な事由により投票日に投票することができない場合に指定された場所において投票することをいいます。この投票の場合特別な事由がある旨の宣誓書を提出して行う事になっています。偽りの宣誓書を提出して不在者投票を行った場合は罰せられることもありますので充分注意して下さい。その他指定を受けた病院、施設等においても不在者投票ができます。

### ●郵便による不在者投票

重度の障害者で、投票日に投票所におもむいて投票することができない場合に、自宅にて投票用紙に候補者氏名を記載し、それを郵送する方法です。この場合は、郵便投票証明書が必要ですので、早めに村選挙管理委員会ですて手続きをして郵便投票証明書の交付を受けて下さい。(郵便による不在者投票をすることができる者は、身体障害者福祉法第4条、戦傷病者特別援護法第2条第1項の手帳所持者)投票用紙の請求期限は、投票日の4日前までです。

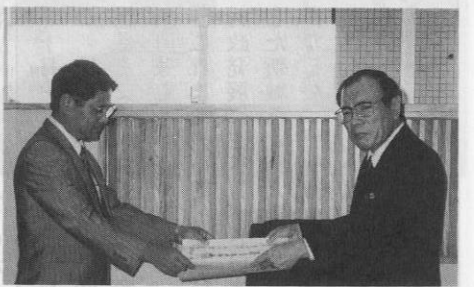
お問い合わせは村選挙管理委員会へ

TEL56-2101(内線38)

## 諸喜田展生さん 運輸大臣より 表彰される

### 港務統計 調査事務

七月二十日(海の記念日)今帰仁村役場建設課港務所長の諸喜田展生さん(四八才)が、港務統計調査事務に永年勤務し、迅速性及び正確性に優秀で他の模範となること認められ、運輸大臣から表彰された。



▲賞状を受け取る諸喜田さん



## いま、学校で考えていること

### 青少年の主張大会

兼次中三年 上原 祐希



「あの兼次中が」と、誰かの口にはほるとき、僕は一瞬身を縮めたものです。なぜならば、聞こえてくるうわさが、悪いものばかりだったからです。

それは、根も葉もないうわさではなく、本当に僕の学校の実態を伝えるものが多かったのです。飲酒、喫煙、万引きなどが、日常頻繁に起こり学校生活がつらく感じたものでした。

例えばこんな事がありました。に合わないですむように、自分たちの教室に、ほとんど閉じこもっていました。教室を移動しなければいけない時はびくびくしながら急ぎ足で移動するという毎日を送っていました。それが僕達の学校では、あたり前のように続いてきたことだったので。

しかし、絶対にこのままではいけない!と生徒が、そして、先生方が、一斉に立ち上がりました。みんなで兼次中を良くするためには、どうするか。先生方も、昼間だけではなく、夜中までも学校や校外のいろんな所を見まわり、徹底した生徒指導をしてくださいました。

そして、今年、僕等の兼次中学校では、新一年生達が、それまで報復をおそれ隠されがちだった事件も、親や教師の耳に届くようになりました。同級生同志だと、みのがしてしまっていた事も、互いに注意し合うようになりました。

た。夜中、学校に来て、窓ガラスを割ったり、校内で酒を飲んだりした上に、飲みおわって空いた一升ビンを割って、あちらこちらに破片を散らかしっぱなしにして帰り、その翌日、下級生や先生方がその後片付けにおられるというような事です。

それだけではありません。なによりも僕達にとって恐ろしかった事が、他にあったのです。一年生の頃の僕は上級生

れはいいかを考え、行動を始めたのです。まず、生徒会を中心として総会を開き「どうすればいいか、金銭せびりをなくする事ができるか」という意見を出し合い、真剣な討議をしました。そして「これらの問題を、しない、させない、みのがさない」事を誓い合い、「一人一人の勇気で、兼次中を変えていこう」と決意したので

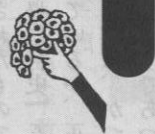
運動場に出て、野球を楽しむ姿が見られるようになったのです。休み時間には、一年や二年が、三年をさそって遊ぶことも、よくあるようになりました。

他の学校では、あたり前のことかも知れませんが、ほか下級生だった頃を思えば、まるでできせきのように変わったのです。それだけではありません。去年は小規模校ながら、中体

## 優しい心献血

日時 11月21日(月)  
午前10:00~午後3:00

場所 役場構内



献血をすることにより自分の健康状態が分ります。又継続的に献血を行うことにより、コレステロールなどの数値の推移が分り、健康のパロメーターになります。そしてなにより健康に恵まれない方々を救うことができます。

# 今帰仁城跡の石の階段

「今帰仁の歴史」にまず登場するのが、字今泊にある今帰仁城跡である。その今帰仁城跡は、これまで長い歴史を歩んできた。今帰仁城跡の石積みや版築工事、そして発掘された大量の遺物や文献史料から様々な歴史をみることが出来る。北山が滅ぼされ(一四一六年)、監守制度が敷かれ(一四二二年)、さらに今帰仁城は薩摩軍によって焼き討ちにあい(一六〇九年)、監守制度が廃止された(一六六五年)。その後今帰仁城は測量(竿入)が行われ(蔡温の時代)、一七四九年に山北今帰仁城監守米歴碑記が建立されるなど様々な歴史を刻んできた。

明治になると上杉県令や尾崎三良、笹森儀助などが訪れ記録を残している。その記録をみると今帰仁城跡もまさに時代の流れの中で動いていることが分かる。さらに鳥居(大正五年)や参詣道(今泊)今帰仁城跡の整備、山北今帰仁城

趾の碑(昭和四年)が建立され、昭和十八年には今帰仁神社の建設が進められるなどの動きがあった。戦後になって今帰仁城内の石の階段(鳥居・大庭)と正門(平郎門)の構築、石垣の修復、志慶真乙樽の歌碑の建立、火の神の祠や山北今帰仁城監守米歴碑記の移築などがある。

さて写真に目を転じると昭和三十八年頃の今帰仁城跡を見ることが出来る。神奈川県座間市在住の渡部文雄さん(六十才)が撮影した城内でおみやげ店を開いている上間幾一さんに託した写真である。渡部さんは昭和三十三年から同三十八年まで数年間沖縄で勤務

しており、この写真は家族と隣りの女の子(那覇)を連れて今帰仁城跡を訪れた時に撮影したものだという。渡部さんは現在もお元気で当時の沖縄の様子を話してくれた。



▲今帰仁城跡の石の階段(昭和36年頃)(渡部文雄さん提供)

手前の左側に立っているのは渡部さんの息子で博文さん(昭和三十三年生)、右側は隣家の女の子だという。中央の階段は昭和三十五年に造られたものである。正門は昭和三十七年に造られたもので、写真の場面は正門が造られる直前である。正門付近に碑が見えるのは「山北今帰仁城跡」の碑で現在「志慶真乙樽の歌碑」のある場所に建

てられていたが乙樽の歌碑建立のために正門に移された。石段の両側にはススキの穂がなびき、遠くに松並木が見え長閑な風景である。鳥居から大庭(ウーミヤ)までの階段は三、五、七など奇数になっている。かつての旧道は途中から階段の下へもぐり、埋もれた状態で正門まで続いている。正門は琉球政府時代の文化財保護委員会によって昭和三十七年に修復された。修復に関わった今泊出身の新城徳祐氏は「この門は、今次の大戦前までは、なかばこわれ、片方ののぞき穴が、つる草におおわれて残っていたが、昭和十八年に、県の指示によって、城内の参道を広めるために、こわされたものであった」(『今帰仁村史』五八二頁)と述べているが、正門や石段を通るたびに、かつての旧道や正門がどうであったのか気になってくる。

今帰仁城跡に関する戦前・戦後の史料や図面、又提供いただいた写真などを一枚一枚重ねていくことで「今帰仁城の歴史」を更に確かなものにしていくことができる。

仲原弘哲  
(歴史文化センター準備室)

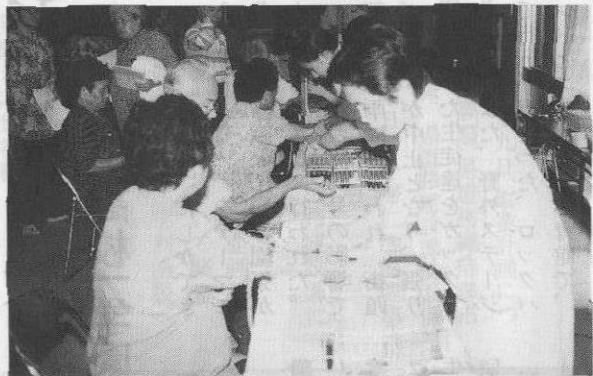
# 保健婦だより



今年も住民健診が、十月十一日の今泊をかわきりに十月三十日のもれ者健診終了しました。老人保健法ができ、住民健診の内容も年々充実してきました。

さて、貴方は、住民健診の結果を何年分保管されているのでしょうか。届いた健診結果をみて、貴方はどうしていますか。

今年も「異常なし」とほっとしたり、「要精査」「要医療」とでて驚いてすぐに病院へ受診したり、「またこれでひっかかっているさ」。毎年



▲朝から大勢の人が健診を受けた(湧川)

今年も「異常なし」とほっとしたり、「要精査」「要医療」とでて驚いてすぐに病院へ受診したり、「またこれでひっかかっているさ」。毎年

## 住民健診の結果を生かそう

同じ「異常なし」とあまり気にもとめなかつたりと反応はいろいろだと思われまます。老人保健法に基づいての健診も十二年目を迎えました。十一年間の結果が保管されているとしたら、貴方の健康状態の変化がみれるすばらしい資料だと思います。

たとえば、毎日三十分づつ歩いたので、これまで高血糖で「要指導」の人が、今年には正常範囲内に入ったり、これまで「異常なし」なので安心していたら、今年になって「要指

導」となっており、これまでの結果をだして比較してみると少しづつ血糖が上がっていたことがわかるなど、いろいろなことがみえてきます。

また「異常なし」でも検査の数字が、成人病に近づきつつある場合は、生活の改善が必要になってきます。

せっかく受けた健診です。その結果を大事に保管して自分自身の健康管理に役立てた方がいいですね。

健診の結果が、よく理解できないとか、これまでの変化をみたいので、以前の資料がほしいなど、健診に関する疑問がありましたら、毎週月曜日の午前九時から十二時まで、役場内の保健婦室で相談を受けています。ぜひ御利用下さい。

また十二月には、各公民館で健診後の健康相談を予定していますので連絡のあった方は、ぜひ参加して下さい。よろしくお願いいたします。

## 当山清儀さんが1等1席に入賞

### 第18回

### 北部地区畜産共進会

第十八回北部地区畜産共進会(主催、北部振興会)が十月六日村家畜セリ市場構内で開催された。

共進会には、各市町村大会で入賞した肉用牛三十八頭が出品され四部門で審査が行われた。

本村からは、六頭が出品され、肉用牛成雌第二類で当山清儀さん(渡喜仁)のふくしま号が第一等一席に輝き、沖繩県農業共済組合連合会長賞に頂いた。また、残りの五頭もすべて入賞した。

結果は次のとおりです。

○肉用牛若雌第一類  
二等一席 米須清和(謝名)



当山清儀さんと、ふくしま号

- 肉用牛若雌第二類  
二等二席 伊集哲男(平敷)
- 肉用牛成雌第一類  
二等二席 伊野波盛達(今泊)
- 二等三席 与那嶺篤哉(渡喜仁)
- 肉用牛成雌第二類  
一等一席 当山清儀(渡喜仁)
- 二等一席 当間正安(与那嶺)

## 第20回沖繩県畜産共進会 枝肉部門

第二十回沖繩県畜産共進会(枝肉部門)が九月七〜十日まで、大里村食肉センターで開催された。

北部地区代表として今帰仁村から三頭が出品され、農協畜産センターと、与儀実治さん(渡喜仁)がそれぞれ優秀賞を頂いた。

# 意欲に満ちた作品の展示や舞台発表

## 第十二回 北山高校「学園祭」



▲舞台発表ではりきる生徒達

「今、「僕ら」にしかできない事がある。」をテーマに北山高校の第十二回学園祭が十月八日・九日に行われた。初日は、台風29号の影響で朝から風雨に見まわれ、街頭パレードが中止となり、張り切っていた生徒達をガツクリさせた。また、野外ステージで行う予定だった、ロックバンドとエイサーは体育館で、

「丘の一本松」、琉舞等といっしょに舞台上で発表された。外に、各クラスやクラブ、職員、PTA等が趣向を凝らした作品の展示や、迷路、幽霊屋敷、バザーのカレーライスト天国等多数の催し物があり、生徒達の意欲に満ちた活動が同われ、参観者を楽しませていた。

## 走って・踊って・競って



兼次中女生徒全員でヌチ花を踊る

ミーニシ（北風）がいつもより早く訪れた秋空の下で九月十八日・二十七日の日曜日村内各小学校・中学校で運動会が行われた。兼次中学校（前川亘校長・生徒百十三人）では「青空のもと共に流そう輝く青春の汗を！」をテーマに、総力レィや男子生徒による棒・空手の演武、女子生徒による琉舞貫花（ぬちばな）、全生徒によるフォークダンス等が最後まで明るく、楽しく、力強く優雅に繰り広げられた。また地域の老人会や婦人会、同窓生も大勢参加し、楽しい一日を過ごした。

## 琉球國祭り太鼓子ども会

### 「いまじん」今帰仁で発足

太鼓を通して会員相互の親睦を図り、児童生徒の健全育成及び文化意識の向上に努め併せて地域社会の福祉に寄与することを目的に、琉球祭り太鼓今帰仁子ども会（小二一六年）が発足、「いまじん」と称し毎週土曜日午後七時から練習に励んでいます。詳しく知りたい方は次のところまで連絡して下さい。今帰仁村字天底五八八 玉城 みちよ 電話五六一四六五四

## アフリカのマダガスカル国

### から農業研修



## ♡心のかよう国際交流♡

マダガスカルあまり聞き馴れない国である。マダガスカルは、アフリカ大陸の東のインド洋に浮ぶ、世界で四番目の大きな島で、日本の約一・六倍もある国です。その国からボランティア団体の協力で、ロビンソン・リヴさん（三四歳）が八月から、高田勝さん（運天）の農場で、樹木の増殖のための栽培技術等の研修に励んでいる。リヴさんは「沖繩は、マダガスカルと気候が似て、とても勉強になる」と意欲をみながらせていた。また、「どこに行っても気軽に声をかけられ



高田さん(左)、リヴさん(右)

とても親しみやすく、島の心を感じた」と沖繩（運天）が特別気に入った様子だった。十月十六日には、運天の農業青年との交流会も行われた。小さな島からの国際交流が大きな輪となって発展してほしいものです。

## 第三回古宇利島振興開発基本計画策定委員会を開催



島民が主体となった島づくりを!

古宇利大橋（仮称）の開通を前提に、古宇利島の将来像を再構築する島の振興計画について、最終委員会が十月十三日、村内において開催された。

今回は、第二回策定委員会で審議された、基本課題、基本方針、土地利用構成を基に重点地区整備計画案、事業化計画案が提示され、各委員の方々から活発な意見がかわされた。

- 九月二十一日、県道路建設課にて業務調整
- 九月二十八日、名護市企画調整課へ取付道路について業務説明
- 九月二十九日、事業計画について業務調整、県道路維持課市町村道係、県道路建設課橋梁係
- 十月四日、今帰仁漁協理事會へ事業経過説明
- 十月五日、県道路建設課にて業務調整
- 十月七日、名護市企画調整課へ取付道路について調整
- 十月十二日、古宇利漁民へ取付道路について説明
- 十月十七日、財団法人道路環境研究所松村常務理事来村架橋予定地視察

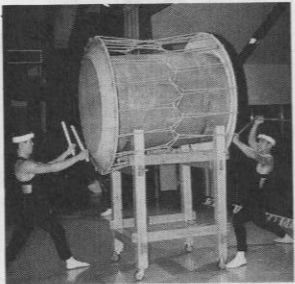
## 架橋だよ

発計画の具体化、事業化方策の明確化、事業推進体制の確立が不可欠との提示があり、島づくりは、その地域住民によりつくり上げていくことが望ましく、島民が主体となった島づくりが今後も望まれる。

## 鬼太鼓座公演

(おんてこぎ)

### —観客を釘付け—



▲心にひびきわたった

九月二十一日、村コミュニティセンターで和太鼓集団鬼太鼓座（おんてこぎ）公演が行われた。

公演は前日の午後四時に急きよ決定、当日、広報車や字の広報マイク等で呼びかけた心配された観客もホール一杯となり、双子の兄弟が息の合ったコンビで一つの三味線を器用に弾くと会場からは感動の拍手。最後に直径約一・五メートルの大大鼓を両面からたたくバチさばきは、迫力満点で終了しても拍手が鳴り止まずアンコールの嵐。メンバーも喜んでそれに答えた。公演は、玉城栄吉氏の御好意により行われました。ありがとうございました。

また、当日は都合により一時間近くも開演が遅れた事をお詫びいたします。

## ◆受付期間◆平成6年10月31日～11月18日

- 試験日 平成6年11月27日・28日
- 採用予定 船艇(航海・機関)・航空(飛行・整備) 無線従事者(通信・技術)

※詳しいことについては、下記のところまでお問い合わせ下さい。第11管区海上保安本部人事課 TEL(098)866-0083



## ご寄付

■社会福祉協議会へ  
○平田喜直さん(謝名一一八三)より母、カマダさんの香典返しとして五万円。  
※ご芳志ありがとうございます。

## 無料法律相談



★玉城弁護士による法律相談を下記のとおりに行います。

1. 平成6年11月16日(水)

1. 村コミュニティセンター

## 犯罪捜査にご協力を

—あなたの一言でスピード検挙—

- 事件を知ったときは、すぐ110番
- 被害に遭ったときは、必ず届出を

※ご芳志ありがとうございます。

# 11月/霜月

## 村民カレンダー

1994年

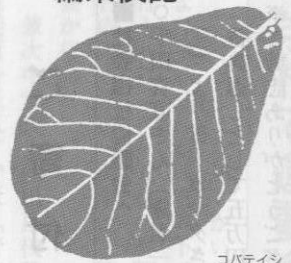


11/1 火	○幼児ことばの教室(土・日・祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○デイサービス(土・日・祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○ポリオ(13:00~14:00コミセン)
2 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○天底小学校研究発表会(13:00~天底小)
3 木	○文化の日 ○村教育功労者表彰式(13:00~コミセン)
4 金	○村づくり講演会(13:30~商工会館)
5 土	○第12回今帰仁村文化祭(コミセン外)
6 日	○第12回今帰仁村文化祭(コミセン外)
7 月	○兼次中学校研究発表会(13:00~兼次中)
8 火	○納税表彰式(15:30~中央公民館)
9 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
10 木	○仔豚セリ(セリ市場)
11 金	○三歳児健診(13:00~14:00コミセン) ○ツールド・おきなわ(11~13日)
12 土	○今帰仁村星座教室(3:00~名護青年の家) ○学校図書館開放日 ○国頭地区中学校駅伝大会
13 日	○乳児一般健診(9:00~11:00 13:00~14:00 コミセン)
14 月	○村親睦チャリティーゴルフ大会(嵐山ゴルフ倶楽部)
15 火	
16 水	○無料法律相談(10:00~16:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○牛セリ(セリ市場)

17 木	○各種団体親善ソフトボール大会(9:00~村運動公園)
18 金	○離乳食実習(13:00~16:00中央公民館)
19 土	○おもちゃ図書館(コミセン)
20 日	○県知事選挙
21 月	○やさしい心献血(役場横内)
22 火	○村長距離月例記録会(17:30~村運動公園)
23 水	○勤労感謝の日 ○村婦人会芸能大会 ○心配ごと相談(コミセン)
24 木	
25 金	
26 土	○おもちゃ図書館(コミセン) ○仔豚セリ(セリ市場)
27 日	
28 月	
29 火	○学村実践発表会(14:00~コミセン)
30 水	○心配ごと相談(コミセン)

'95年度 沖縄県民手帳 申し込み受付中 11月21日まで  
 沖縄県のすがたが一目で分かる便利でスマートな手帳です。  
 ◎お申し込み・お問合せは 村役場企画係まで ☎56-2101

### 編集後記



コバテイシ

運動会シーズン小学校一年生を持つ親にとっては戦々競々である。何せ、走りたくなくとも走らざるを得ない親子リレーが待っているからである。見る方にとれば笑えて楽しいはずである。でも親にとれば子どもにはつばを掛けられ、外野からの声援も逆にプレッシャーとなり……。でも子どもの為に一生懸命に走る姿は絵になる。御苦労様。

■九月二十九日、午後零時二十分～四十五分の二十五分間、NHKテレビ昼どき日本列島の番組で今帰仁村の闘牛やワラビ細工等が全国中継された。そのマスメディア効果はすごいものである。全国から電話や手紙での問い合わせ。いかに広報がたいせつかを痛感。

■また、忙しい中、闘牛撮影のためにお越し下さいました皆さん、御協力誠にありがとうございました。